

400号を迎えた不登校・ひきこもり専門紙「Fonte」編集長

# 顔



撮影・前田尚紀

石井 志昂さん 32

「日本で唯一」を自任する不登校・ひきこもり専門紙「Fonte」は1998年にスタート。NPO法人が発行する同紙の創刊号に、16歳の当事者とし

て自身のインタビュー記事が載った。「試験のためだけの勉強に疑問を持ち、中2で学校に行かなくなった」と語った。当時、ほかの子と同じように学校に行けないことが親に申し訳なく、死のうと思ひ詰めた。周囲に同じ気持ちの人がいない。それが一番つらかった

取材を受けた後、「自分の経験が誰かのためになる」と気づき、編集を手伝い始めた。2006年、2代目の編集長に。不登校やひきこもり中の約60人が編集作業に協力し、月2回、タブロイド判8ページの新聞1800部を定期購読者に届ける。今月15日に400号を迎えた。

内容は、当事者のインタビューや読者相談など。ありのままの思いを伝える編集方針が共感を呼び、1000人以上が取材に応じた。「元気が出た」「子どもが絶えない」「不登校やひきこもりの経験が人生で生きる時がある。社会からのドロップアウトと見なされなくなる日まで、発行を続けたい」と力を込めた。  
(社会保障部 大広悠子)

## ボコ・ハラム襲撃 32人死亡

### 女性、子供185人超拉致か

ナイジェリア

【ヨハネスブルク＝上杉洋司】AFP通信は18日、ナイジェリア東部ボルノ州の村グムシリがイスラーム過激派組織「ボコ・ハラム」に襲われ、少なくとも32人が死亡したと伝えた。襲撃



があったのは14日で、複数の地元政府関係者によると、多数が行方不明となっており、185人以上の女性と子供が拉致された可能性があるといる。

ボコ・ハラムによって携帯電話の基地局や主要な道路の多くが破壊されているため、情報が伝わるまで時間がかかったようだ。村から約70キロ、北にある州都マイドゥグリなどに村人が多数逃げてきたことから、

攻撃が明らかになった。

ボルノ州では今年4月、学校がボコ・ハラムに襲撃され、女子生徒200人以上が拉致された。同州などナイジェリア東部では、ボコ・ハラムが食料や家畜を略奪し、女性を拉致する事件が頻発。ナイジェリア軍は、ボコ・ハラムの掃討作戦を展開しているが、地元住民からは、「軍は住民を守ってくれない」と不満が高まっている。

## ルーブル暴落「外的要因」

### プーチン氏「脱却に最悪2年」

【モスクワ＝田村雄】ロシアのプーチン大統領は18日、内外記者会見を開き、ロシア通貨ルーブルの急落

について初めて言及し、「現在の経済状況は外的要因にあおられている。半歩早くやるべきだが、ロシアの

中央銀行や政府は適切な措置を行っている」と述べ、露政府の経済対策には問題ないとの見方を強調した。ただ「最悪の場合、経済的な困難から脱するためには年間必要かもしれない」とも言及し、ロシア経済の回復には時間がかかるとの見通しを示した。

化した。

また、ロシアに加え、中

関 展の入り